

# 施策評価シート（令和3年度実績）

施策名 38 時代の要請や市民の期待に応える職員を育成する

		施策コード	050038
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	推進方策 市民とともに 紡ぐ まちづくり	
主管課	総務市民部 人事課		
関係課			

2. 施策の目標	
10年後の目標	
市民の期待に応えるため、職員が常に自己啓発に努めながらその能力を最大限に発揮し、市民の良きパートナーとして、市民の視点に立って行政施策を推進しており、また、それを保障する職場環境と人事制度が整備されています。	
10年後の目標に向かったの主な取組み	
市の取組み	
<p>○積極性を持った職員を採用するとともに、多様な知識や能力を有した経験豊富な外部人材を登用するなど、将来を見据えた人材確保に努めます。</p> <p>○職員の自発性や自己啓発意識を高めるとともに、接遇やコミュニケーション能力の向上を図り、市民に親しまれ、信頼され、広い視野に立って地域の将来を考え実践できる職員の育成に努めます。</p> <p>○職員個人の能力開発や人材育成のため、能力向上のツールとして人事評価を積極的に活用します。</p> <p>○職場での職員の能力向上への取組みが積極的に行われるよう、学習的風土づくりと職場環境整備に努めます。</p> <p>○職員は地域活動などに積極的に参加し、地域課題の把握や行政への理解促進に努めます。</p> <p>○ICTに関する職員の知識と活用能力の向上に努めます。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
○来庁者等は職員の接遇などに関するアンケート調査等に協力します。	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
少子高齢化に伴い、地域を取り巻く環境の変化により、市民ニーズが多様化・複雑化している。	
新たな市民ニーズ	
多様化・複雑化している市民ニーズを把握し、地域の一員としての市民の立場での確な対応を行う職員が求められている。	

4. 施策にかかるコスト							
		単位	R2予算	R2決算	R3予算	R3決算	R4予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		2,49		2,46
		会計年度任用職員数			0,0		0,0
	人件費	直接人件費	千円		18,026		17,641
		間接人件費			2,185		2,432
	直接事業費			7,706	5,247	8,018	5,160
間接事業費				65		145	
フルコスト				25,523		25,378	
財源内訳	使用料及び手数料		千円				
	国庫支出金						
	府支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）					25,523	
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）			7,706	5,247	8,018	5,160	7,252
備考							

5. 施策の成果指標							
成果指標1		アンケートにおける、窓口対応を「とても満足」「満足」と答えた人の割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
%	毎年度	90	増加	81	80	90	90
成果指標2							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和3年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費 人件費				方向性		所見
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込)			
人事管理事務 (人事)				3,913	4,075	3,749	4,864	成果	評価対象外	
	R3実績			15,635	14,883	14,687	/	資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率									
職員等研修事 業 (人事)	階層別研修受講人数			2,138	1,172	1,411	2,388	成果	A：向上を図 る	コロナ禍において、リモート研 修も取り入れ、受講機会の確 保が図られた。
	R3実績	159	人	5,449	5,328	5,386	/	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に 対する達成率		63.6%							

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成できている。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所 などの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
働きやすい職場環境の醸成のため、動画配信研修なども取り入れ、効果を確認しながら取組みを進め、職員の研修、相談の機会の充実を図る。